

湯沢の歴史再発見 建物探訪

令和4年11月19日(土)
9:00~13:00
8:45 受付開始 (市役所本庁舎市民ロビー)

湯沢市内にある国登録文化財等、普段は内部まで公開されない歴史的な建物を専門家の案内によって探訪します。
この機会に湯沢市の魅力にまた一つ触れてみませんか。

白井晟一設計 ② しどうしゃ
国登録有形文化財 「四同舎」



白井晟一設計 ③ ろうかんせき
「琅玕席」



白井晟一設計 ① こくうあん
国登録有形文化財 「顧空庵」

参加無料

定員 25 人 (事前申込必要・先着順)

見学地へは市のバスを使用

講師 白井晟一建築研究所・アトリエ No.5
白井 原太氏 (湯沢市ふるさと応援大使)

ヘリテージマネージャー
清水川 隆氏
湯沢観光ガイドの会
小原 勝彦氏

参加申込

11月1日(火)から受付いたします。

参加希望者は下記までお電話またはメールで申し込みください。

・電話番号 0183-55-8193
(平日 8:30~17:00)

・電子メール
k-bunkazai@city.yuzawa.lg.jp 宛に

次の内容を明記して送信ください。

- ・件名「建物探訪申し込み」
- ・氏名・住所・電話番号



国登録有形文化財

やまうちげじゅうたくしゅおく

「山内家住宅主屋」

④ ぶんこぐら
「文庫蔵」

見学地について (見学順)

① こくうあん しきしよじゆうたく
(1) 顧空庵 (試作小住宅)

昭和 28(1953) 年、東京世田谷区に新築、その後平成 19(2007) 年に湯沢市に移築された。白井の思想やアイデアがよく表れており、外観は切妻造の木造平家建て、内部の部屋等、仕上げ材の選択や空間構成の工夫から小規模でも豊かな住環境を実現した建物である。

② しどうしゃ
(2) 四同舎 (旧湯沢酒造会館)

昭和 34(1959) 年、株式会社酒造会館の集会施設として建設された。外観は鉄筋コンクリートを黒塗りの鋼板で包んだ柱、白タイル張りの壁、量感のある屋根、内部はエントランスホールの大きな吹き抜けの空間の階段、各室等にそれぞれ特徴が見られる。

③ ろうかんせき
(3) 琅玕席 (高久酒造茶室)

昭和 28(1953) 年、酒蔵の大空間の二階に 4 坪弱の茶室が造られた。室内全て節のある太めの磨き丸太と聚楽壁で構成される。また床板がなくとも畳の上の磨き丸太によって床の間に見える等、新しい和風の手法に“白井好み”を感じ取れる空間となっている。

④ やまうちげじゆうたく
(4) 山内家住宅

山内家の七代三郎兵衛が 4 年の歳月をかけて建て昭和 9 (1934) 年 9 月 9 日に竣工。羽州街道沿いの建物ではひときわ目をひいたと伝わる。建築時は、世界恐慌、昭和東北大飢饉と国も地方も疲弊していた頃で地元の雇用対策も建築の目的とされる。

主屋は屋根の深緑の釉薬瓦葺きが特徴的な他、裏座敷、洋風意匠の車庫、4つの土蔵群が立ち並び優れた街路景観を構成している。

主 催
問い合わせ

湯沢市教育委員会

生涯学習課文化財保護室 (TEL 0183-55-8193)